

NEWSLETTER

2014年7月号

No. 167

日本環境管理学会 会報

RIEMAM

目次

< 1 頁 > 平成26年度日本環境管理学会大会報告／新刊案内 < 2 頁 > 平成25年度事業報告・収支決算書
< 3 頁 > 平成26年度事業計画・収支予算書 < 4 頁 > 大会特別セッション概要／研究助成案内

平成26年度 日本環境管理学会大会報告

通常総会：久保会長が再任 研究発表会：幅広い分野から27題

現場報告：中村聡（福岡）と高橋渉（東京）両氏に優秀発表賞

本学会は5月30・31日の両日、東京都江戸川区の総合区民ホール（タワーホール船堀）にて平成26年度大会を開催しました。第27回目を迎えた研究発表会では、27題の研究発表のほか、特別セッションとして「建築エコ化マネジメントへの流れ」と題する報告が行われました。

研究発表会に先立ち、平成26年度通常総会を開催。昨年度の事業・収支決算・監査報告と、今年度の事業計画・収支予算案が、原案どおり承認されました（2～3頁参照）。この中で、建築・設備不完全性事例研究小委員会が長年取り組んできたべからず事例収集の成果がオーム社から出版されたこと（下記参照）が報告され、普及に努めることが確認されました。

総会はまた役員改選も行い、久保猛志会長と古橋秀夫・村松學両監事が再任されました。

研究発表会では、室内環境、エネルギー、人口動態、津波、エコハウスなどをテーマに、7セッション・27題の研究が発表されました。今回は「ビルメンテナンスの現場から」の報告が2題あり、中村聡氏（東洋ビル管理）「ビル内の気圧コントロールによる省エネルギー手法」と、高橋渉氏（東京ビルメンテナンス協会）「窓ガラスフィルム使用の効果と問題に関する



調査」がそれぞれ優秀発表賞を受賞しました。

また全国ビルメンテナンス協会助成研究報告では、平成24年度の終了報告及び25年度の間接報告が行われ、清掃品質に応じた性能発注のあり方をめぐって熱い議論が展開されました。

特別セッションは、昨年設置された建築エコ化マネジメント小委員会からの報告で、メンバー7名が講師となって、建築エコ化に向けた動向や各種手法の紹介、実践事例などが紹介されました（4頁参照）。

新刊

学会の研究成果が
オーム社から本に

建築・設備のあつてはならない不完全性事例大全集

日本環境管理学会・建築と設備の不完全性事例研究小委員会＝編



設計上の配慮不足や不十分な維持管理など、さまざまな原因によって生じた不具合を抱えたまま使用されつづけている建築や設備。本学会の建築と設備の不完全性事例研究小委員会が長年にわたって調査・研究してきた成果がオーム社から出版されました。

本書は同委員会が収集した膨大な不適正な（不完全性）事例の中から130事例を厳選して収録。全編オールカラーで、すべての事例に不適切な状態の写真とその改善例（適切な事例）の写真2点を掲載しています。「本当にこんな建物があるの?」「こんな欠陥・不具合を放置したままでいいの?」と驚くこと間違いなし。維持管理の重要性が一目で理解できる本です!

【会員特価】本レターと同封の特別注文書で注文の場合、1割引（送料無料）

A5判／168ページ／定価＝2,400円＋税（チラシ注文の場合2,160円＋税）

1. 平成25年度通常総会 日時 平成25年5月24日 場所 江戸川区総合区民ホール会議室 議案 平成24年度事業報告・収支決算報告／同監査報告／平成25年度事業計画・収支予算／その他	4. 研究活動 (1) 研究小委員会（學術委員会） 1) 論文審査小委員会5回（通信委員会を含む） 2) 現場のための室内環境評価と測定研究小委員会8回 3) 建築・設備の不完全性（ベからず）事例研究小委員会3回 4) 建築エコ化マネジメント小委員会7回 (2) 受託研究活動（ビルメン戦略研究委員会・総務委員会・事業委員会） 委託元：（公社）全国ビルメンテナンス協会 平成25年度課題 1) ビルメンテナンス・グランドデザインに関する研究（継続課題） 2) 「ビルメンテナンスと建物長寿命化の関連性に関する研究」（個別課題） 3) 「ビルメンテナンスの契約実態の分析と契約のあり方に関する研究」（個別課題） 4) 「ダニアレルゲン量簡易検査を用いた品質管理に関する研究」（個別課題）	バックヤード及び駅舎見学 6. 出版等事業（學術委員会・論文審査小委員会・事業委員会・ニューズレター小委員会） (1) 会誌『環境の管理』第76号～第77号 (2) 「NEWSLETTER」第163号～第165号 (3) Web版ニューズレターの更新 (4) ホームページの更新 (5) 日本環境管理学会大会2013 學術講演梗概集－第26回研究発表会－ 7. 他団体等への協力事業（総務委員会・事業委員会） (1) 全国ビルメンテナンス協会 ①ビルメンテナンス研究発表表彰選考委員会への委員派遣 ②ビルメンテナンス研究助成選考委員会への委員派遣 (2) 協賛・後援：ビル管理教育センター「第41回建築物環境衛生管理全国大会」／全国ビルメンテナンス協会「第7回ビルメンこども絵画コンクール」「ビルメンヒューマンフェア'13」
2. 会合 (1) 理事会 1回 日時 平成25年5月24日 (2) 学会運営関係委員会 1) 運営委員会 1回 2) 學術委員会 10回 3) 総務委員会 8回（事業委員会と合同） 4) 事業委員会 11回（総務合同委員会8回）	5. 見学会 (1) 東京駅見学会（平成26年2月7日） 廃棄物処理システム、防災センター等の	
3. 研究発表会（學術委員会） 第26回研究発表会 日時 平成24年5月24日～25日 場所 江戸川区総合区民ホール会議室 論文等 研究発表会33題 記念講演「地方公共団体におけるPRE（Public Real Estate）戦略」山本康友氏（首都圏大学東京特任教授）		

<収入の部>

平成26年3月31日現在（単位：円）

勘定科目	平成25年度決算額	平成25年度予算額	増▲減	摘要
入会金収入	4,000	6,000	▲2,000	
入会金収入	4,000	6,000	▲2,000	個人会員2名入会
会費収入	1,246,000	1,544,000	▲298,000	
個人会員収入	416,000	644,000	▲228,000	個人正会員＋学生会員
法人会員収入	830,000	900,000	▲70,000	法人正会員＋特別会員
事業収入	335,968	450,000	▲114,032	
大会等収入	260,000	265,000	▲5,000	研究発表会、講演会等
その他事業収入	75,968	185,000	▲109,032	書籍販売及び印刷等、情報ランド返却
受託事業収入	3,000,000	3,000,000	0	
委託研究費	1,500,000	1,500,000	0	全国ビルメンテナンス協会より
研究助成収入	1,500,000	1,500,000	0	同上
貸室料立替金収入	560,000	600,000	▲40,000	全国ビルメンテナンス政治連盟より
雑収入	778	50,000	▲49,222	
受取利息	778	0	778	
雑収入	0	50,000	▲50,000	
当期収入合計	5,146,746	5,650,000	▲503,254	
前期繰越金	7,648,017	7,648,017	0	
計	12,794,763	13,298,017	▲503,254	

<支出の部>

（単位：円）

勘定科目	平成25年度決算額	平成25年度予算額	増▲減	摘要
事業費	2,113,568	2,805,000	▲691,432	
研究費	759,445	1,240,000	▲480,555	研究小委員会、図書費等
印刷編集費	574,665	750,000	▲175,335	会誌、ニューズレター等制作費
通信運搬費	179,531	180,000	▲469	電話料、会誌送料等
原稿料	29,660	50,000	▲20,340	
講師謝金	33,333	70,000	▲36,667	
大会等開催費	511,104	450,000	61,104	総会、理事会、研究発表会開催費
器具備品費	10,080	50,000	▲39,920	コピーリース代等
渉外費	15,750	15,000	750	
管理費	4,377,530	2,845,000	1,532,530	
給料手当	146,400	150,000	▲3,600	
旅費交通費	25,080	35,000	▲9,920	
会議費	13,220	20,000	▲6,780	運営委員会等開催費
水道光熱費	61,074	130,000	▲68,926	
消耗備品費	47,328	50,000	▲2,672	
顧問料	471,000	550,000	▲79,000	
借室料	1,976,661	1,900,000	76,661	貸室料立替金支出を含む
事務所移転費	1,618,570	0	1,618,570	
雑費	18,197	10,000	8,197	振込手数料等
当期支出合計	6,491,098	5,650,000	841,098	
当期収支差額	▲1,344,352	155,000	▲1,499,352	
次期繰越金	6,303,665	7,484,820	▲1,181,155	
計	12,794,763	13,134,820	▲340,057	

1. 平成26年度通常総会 日時 平成26年5月30日(金)10:00～ 場所 江戸川区総合区民ホール会議室	3. 建築エコ化マネジメント小委員会 ・建築エコ化マネジメント及び評価手法の検討 4. その他(1～2研究小委員会) (2) 受託研究活動(ビルメン戦略研究委員会・総務委員会・事業委員会) 委託元: 全国ビルメンテナンス協会 委託研究課題「ビルメンテナンス・グラウンドデザインに関する研究」 (平成25年度課題を継続し、以下の課題の研究を進める) 1) 「ビルメンテナンス業に係る現状の認識と将来への展望や夢」の集計・分析と報告書の作成 2) 「ビルメンテナンスと建物長寿命化の関連性に関する研究」(個別課題) 3) 「ビルメンテナンスの契約実態の分析と契約のあり方に関する研究」(個別課題) 4) 「ダニアレゲン量簡易検査を用いた品質管理に関する研究」(個別課題)	6. 出版事業(学術委員会、論文審査小委員会、事業委員会、ニューズレター小委員会) (1) 会誌『環境の管理』第78号～第80号 (2) 日本環境管理学会大会2014 学術講演梗概集―第27回研究発表会― (3) 「NEWSLETTER」第166号～第168号(別途Web版ニューズレター6号) (4) 『建築と設備のあつてはならない不完全性事例大全集』(オーム社)の頒布・普及
2. 会合 (1) 理事会 1回 (2) 運営委員会 2回 (3) 学術委員会 10回 (4) 総務委員会 10回 (5) 事業委員会(ニューズレター小委員会) 12回 (6) 調査研究小委員会等 随時	5. 講演会・見学会等(事業委員会、学術委員会) (1) 講演会・見学会 1～2回開催予定	7. 他団体等への協力事業(総務委員会、事業委員会) (1) 全国ビルメンテナンス協会への委員派遣 ① 研究助成選考委員会 ② 研究発表表彰選考委員会 (2) 建築物管理訓練センターからの課題委託 (3) 協賛・後援予定 ① 日本建築衛生管理教育センター「第42回建築物環境衛生管理全国大会」 ② 全国ビルメンテナンス協会「第8回ビルメンこども絵画コンクール」
3. 研究発表会(学術委員会) (1) 第27回研究発表会 日時: 平成26年5月30・31日 場所: 江戸川区総合区民ホール会議室		
4. 研究活動 (1) 研究小委員会(学術委員会) 1) 論文審査小委員会(通信委員会を含む) 2) 現場のための室内環境評価と測定研究小委員会 ・「室内環境評価システム・簡易版」の普及		

<収入の部>

(単位: 円)

勘定科目	平成26年度予算額	平成25年度予算額	増▲減	摘要
入会金収入	6,000	6,000	0	
入会金収入	6,000	6,000	0	個人会員3名入会
会費収入	1,329,000	1,544,000	▲215,000	
個人会員収入	479,000	644,000	▲165,000	個人正会員+学生会員
法人会員収入	850,000	900,000	▲50,000	法人正会員+特別会員
事業収入	510,000	450,000	60,000	
大会等収入	325,000	265,000	60,000	研究発表会、講演会等
その他事業収入	185,000	185,000	0	書籍販売等、訓練センター委託
受託事業収入	3,000,000	3,000,000	0	
委託研究費	1,500,000	1,500,000	0	全国ビルメンテナンス協会より
研究助成収入	1,500,000	1,500,000	0	同上
貸室料立替金収入	540,000	600,000	▲60,000	全国ビルメンテナンス政治連盟より
雑収入	50,000	50,000	0	
受取利息	0	0	0	
雑収入	50,000	50,000	0	
当期収入合計	5,435,000	5,650,000	▲215,000	
前期繰越金	6,303,665	7,648,017	▲1,344,352	
計	11,738,665	13,298,017	▲1,559,352	

<支出の部>

(単位: 円)

勘定科目	平成26年度予算額	平成25年度予算額	増▲減	摘要
事業費	2,615,000	2,805,000	▲190,000	
研究費	1,050,000	1,240,000	▲190,000	研究小委員会、図書費等
印刷編集費	750,000	750,000	0	会誌、ニューズレター等制作費
通信運搬費	180,000	180,000	0	電話料、会誌送料等
原稿料	50,000	50,000	0	
講師謝金	70,000	70,000	0	
大会等開催費	450,000	450,000	0	総会、理事会、研究発表会開催費
器具備品費	50,000	50,000	0	コピーリース代等
渉外費	15,000	15,000	0	
管理費	2,820,000	2,845,000	▲25,000	
給料手当	150,000	150,000	0	
旅費交通費	35,000	35,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	運営委員会等開催費
水道光熱費	0	130,000	▲130,000	
消耗備品費	50,000	50,000	0	
顧問料	480,000	550,000	▲70,000	
借室料	2,075,000	1,900,000	175,000	貸室料立替金支出を含む
雑費	10,000	10,000	0	振込手数料等
当期支出合計	5,435,000	5,650,000	▲215,000	
当期収支差額	0	0	0	
次期繰越金	6,303,665	7,648,017	▲1,344,352	
計	11,738,665	13,298,017	▲1,559,352	

平成26年度日本環境管理学会大会<特別セッション>

建築エコ化マネジメント



石塚義高氏



磯部裕幸氏



金子誠氏



清宮仁氏



岡建雄氏



木村博則氏



多田聡氏

への流れ

建築エコ化マネジメント小委員会報告

大会の特別セッションでは、建築エコ化マネジメント小委員会の報告として、「建築エコ化マネジメントへの流れ」と題する、7人の講師による9題の報告がなされた。

最初に建築エコ化マネジメント小委員長として、石塚義高氏（本学会専務理事）より、「建築エコ化マネジメントと今後の展開」と題して、委員会の設置目的（大きくは地球温暖化のための二酸化炭素排出量の削減対策ならびに近年の電力需給逼迫による節電と省エネ対策として、建築のエコ化マネジメントが多くの建築で求められ、特に中小業務ビルについては、人材も資金もノウハウも不足し対策実施に滞りがちであり、中小業務ビルのオーナーに対して、エコ化マネジメントのノウハウと資金概算法と経済性評価手法を提供することを主目的とする）、委員会開催の経緯、専門家へのインタビュー報告、中小ビルテナントの望み等の報告があり、次に総会として次々に講師が紹介され連続講演となった。

2番手は磯部裕幸氏（日本ヴァリュアーズ代表取締役）による「不動産評価事業と建築エコ化マネジメント」と題して、エコ化投資と収益また経済性インパクトを中心に講演がなされた。

3番手は金子誠氏（朝日ビルメンテナンス代表取締役社長）による「ソフトエスコ事業と建築エコ化マネジメント」と題して、業務部門の省エネ化が進まない理由、福岡市のソフトエスコ、環境省の二酸化炭素削減事業について講演がなされた。

4番手は清宮仁氏（昌平不動産総合研究所取締役）による

「業務ビル管理事業における建築エコ化マネジメント」と題して、東京ビル協中小ビル事業委員会の地球温暖化対策とエコ化、中小ビルの省エネの実態調査、中小ビルの節電対策、エコ化マネジメントの事例の紹介について講演がなされた。

5番手は岡建雄氏（宇都宮大学名誉教授）による「環境負荷低減方策と建築エコ化マネジメント」と題して、省エネの世界の動向、ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）の法制化の動き、省エネ技術、ZEBの試算について講演がなされた。

6番手は木村博則氏（石本設計事務所環境総合技術室長）による「建築エコ化マネジメントとその評価手法」と題して、中小業務ビルの据置・改修・建替、改修可能性チェックシートによる簡易評価、省エネ投資と建築エコ化可能性評価の必要性、スーパー・グリーン改修の提案、ライフサイクルコストと不動産評価の課題について講演がなされた。

7番手は多田聡氏（石本設計事務所主任）による「モデル建築の改修工事費の概算法」と題して、概算の手順、設定条件、モデル建物、モデル建物による概算工事費について、また「ライフサイクルにおける環境負荷低減の評価手法」と題して、二酸化炭素排出量の評価の視点と評価手法、モデル建物での環境負荷評価結果について、さらに「ライフサイクルにおける経済性収支の評価手法」と題して、経済性収支の評価の視点と評価手法、モデル建物での経済性収支評価の条件、モデル建物での経済性収支評価の結果について、それぞれ講演がなされた。

ビルメンテナンスに関する 研究助成のご案内

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会では、ビルメンテナンスの研究・技術を促進するため、助成事業を行っています。下記要領で研究テーマを募集いたしますので、奮ってご応募ください。

1. 助成対象

ビルメンテナンスに係る分野の研究

2. 助成対象者及び研究助成金

①	若手研究	1件あたり50万円以内
	30歳以下の国内の大学等に所属する大学生・大学院生	
②	一般研究	1件あたり100万円以内
	国内の大学もしくは研究所等の非営利研究機関に所属する個人またはグループ	

3. 助成・研究期間

平成26年12月～平成27年12月

4. 研究対象者の主な義務

- ①研究期間終了後に報告書・経理報告書等を提出すること

- ②中間報告及び終了報告を、日本環境管理学会大会において発表すること

- ③学術団体が発行する論文誌に、研究成果を論文として投稿すること

5. 応募

平成26年6月1日～9月30日までに、研究助成申請書及び研究計画書を提出すること

※応募方法は(公社)全国ビルメンテナンス協会のホームページ (<http://www.j-bma.or.jp/>) でご確認ください。

6. 採否の決定

委員会で審査し、11月に採否を通知します。

【問い合わせ先】(公社)全国ビルメンテナンス協会
事業部事業企画課 担当：下平智子 TEL：03-3805-7560

NEWSLETTER RIEMAM

2014年7月号 第167号

発行＝日本環境管理学会

(Research Institute of Environmental Management, Administration and Maintenance of JAPAN)

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-26-7 クレセントビル4階

TEL：03-3802-7050 FAX：03-3802-7051

ホームページ：<http://www.riemam.org> Eメール：info@riemam.org